

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月5日

鹿児島市長 殿



提出者

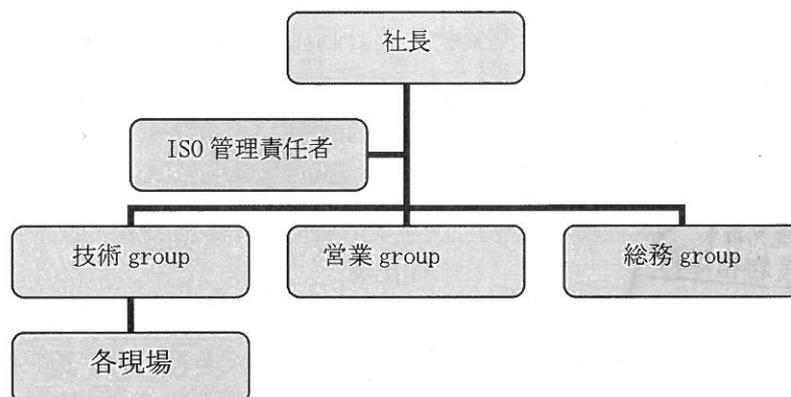
住所 鹿児島市田上八丁目27番9号
氏名 株式会社 有迫組
代表取締役 久永 義治
電話番号 099-282-1920 担当: 山之内

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社有迫組
事業場の所在地	鹿児島市田上八丁目27番9号
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業 小分類：一般土木建築工事業
②事業の規模	完成工事高8億5千万
③従業員数	31人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	各現場により発生した産業廃棄物は、自社若しくは産業廃棄物収集運搬許可業者に委託し、産業廃棄物処分許可業者へ搬出し処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	排出量	931.6 t	
	(これまでに実施した取組) ・協力業者の教育を重視し、適正な分別収集、自社持ち帰りを推進 ・工事看板などはシールを貼り換え再利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	排出量	別紙内訳書	
	(今後実施する予定の取組) ・分別収集の推進強化 ・再利用の促進及び拡大		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・各現場において種別用コンテナ(分別用)を極力設置。 ・社内教育や会議で分別意識の意識を定着させる ・掲示物による注意喚起
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記活動の継続及び推進

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	該当なし	
	(これまでに実施した取組) ・各現場で再利用の促進 ・再生資源の積極的活用を協議		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	該当なし	
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用可能な種類毎に分別		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	該当なし	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	該当なし	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	該当なし	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	該当なし	
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	該当なし	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	-	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	該当なし	
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	全処理委託量	別紙内訳書	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙内訳書	
	再生利用業者への処理委託量	別紙内訳書	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙内訳書	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙内訳書	
	(これまでに実施した取組) ・建設廃棄物処理委託契約締結後、全ての産業廃棄物を産業廃棄物処分許可業者にて処分		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙内訳書	
	全処理委託量	別紙内訳書	
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙内訳書	
	再生利用業者への 処理委託量	別紙内訳書	
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙内訳書	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙内訳書	
	(今後実施する予定の取組) ・建設廃棄物処理委託契約書締結後、全ての産業廃棄物を産業廃棄物 処分許可業者にて処分 ・優良認定処理業者の採用を検討		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画書 廃棄物の種類が複数ある場合この表を使用してください

別添内訳書

(お願い:2種類までは計画書に記載することができますが、集計の都合上、なるべくこの表をご使用ください)

廃棄物の排出の抑制に関する事項	がれき類	木くず	廃プラスチック類	金属くず	ガラ・コン	紙くず	汚泥	建設混合 廃棄物 (※)	廃油	コンク リート塊	アスファ ルト塊	合計	数字 (t)
①現状(前年度実績) 排出量【A】	0.00	14.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.04	0.00	0.00	519.20	397.80	932	
②計画(今年度目標) 排出量【B】	0	100	0	0	0	50	10	0	100	700	400	1,360	
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項													
①現状(前年度実績) 自ら再生利用を行った量【C】													0
②計画(今年度目標) 自ら再生利用を行う量【D】													0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項													
①現状(前年度実績) 自ら熱回収を行った量【E】													0
②計画(今年度目標) 自ら熱回収により減量する量【F】													0
③計画(今年度目標) 自ら熱回収を行った量【G】													0
④計画(今年度目標) 自ら中間処理により減量する量【H】													0
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投棄処分に関する事項													
①現状(前年度実績) 自ら埋立処分を行った量【I】													0
②計画(今年度目標) 自ら埋立処分を行う量【J】													0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項													
①現状(前年度実績) 全処理委託量【K】													0
内訳 優良認定処理業者へ処理を委託した量【L】													0
内訳 再生処理業者へ処理を委託した量【M】													0
内訳 認定熱回収業者へ処理を委託した量【N】													0
内訳 認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量【O】													0
②計画(今年度目標) 全処理委託量【P】													0
内訳 優良認定処理業者へ処理を委託する量【Q】													0
内訳 再生利用業者へ委託する量【R】													0
内訳 認定熱回収業者へ処理を委託する量【S】													0
内訳 認定以外の熱回収業者へ処理を委託した量【T】													0

※ガラ・コン=ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(廃石膏ボードもガラ・コンの項目です)

※建設系の廃棄物で、品目ごとの仕分けが不可能な場合は、建設混合廃棄物として記入してください。

